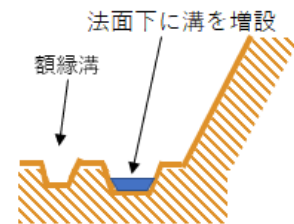


黒大豆・小豆は畑作物で、水のたまる畑では生育や収量に大きく影響します。ここ数年は大雨や長雨に見舞われ、湿害や根傷みによる病害が減収の大きな原因になっています。

### 1 排水が悪い畑は1か月前から

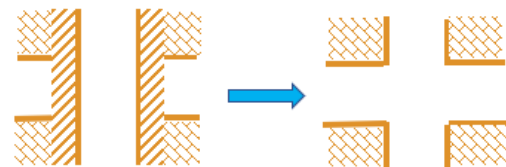
直前の雨で耕うんできなかつたり、無理に耕うんすると土の条件を悪くします。排水不良部分だけでよいので、溝をつけて排水口までつなぎ、降雨後一日も早く乾くようにします。

法面下や用水の水漏れで水がしみ出る場合は、その浸水を遮断する深い溝を掘り排水します。重機なら深く掘れますが、無理ならトラクタで深い溝にしましょう。



### 2 額縁溝と枕地はしっかり溝を設置し確実に接続

畑の外周の額縁溝と、枕地に溝をつけて排水口をつなぐことが基本です。培土板で溝を切った後、溝交点の土はクワで丁寧に取り除きましょう。



培土板で溝をつけた後、くわで土を取り除く

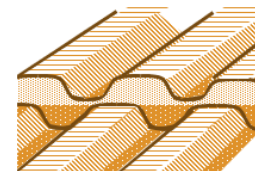
### 3 排水が悪くなる部分は溝や排水口を増設

うねが長い場合は、うねに直交する溝でうねを短く切りましょう。

畑の中に水が溜まりやすい場合は、うね間を広く取り、うね間より深めの溝をうねと平行に設置しましょう。

排水口の増設は、大雨でも早く排水できます。うねに直交する溝を排水口に直結できれば、さらに有効です。

うねと直交する排水溝でうねを短く切断



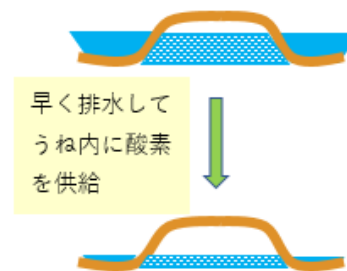
うねと平行に、うね間より深めの排水溝を設置

各種排水対策を次ページにイラストで掲載しています。

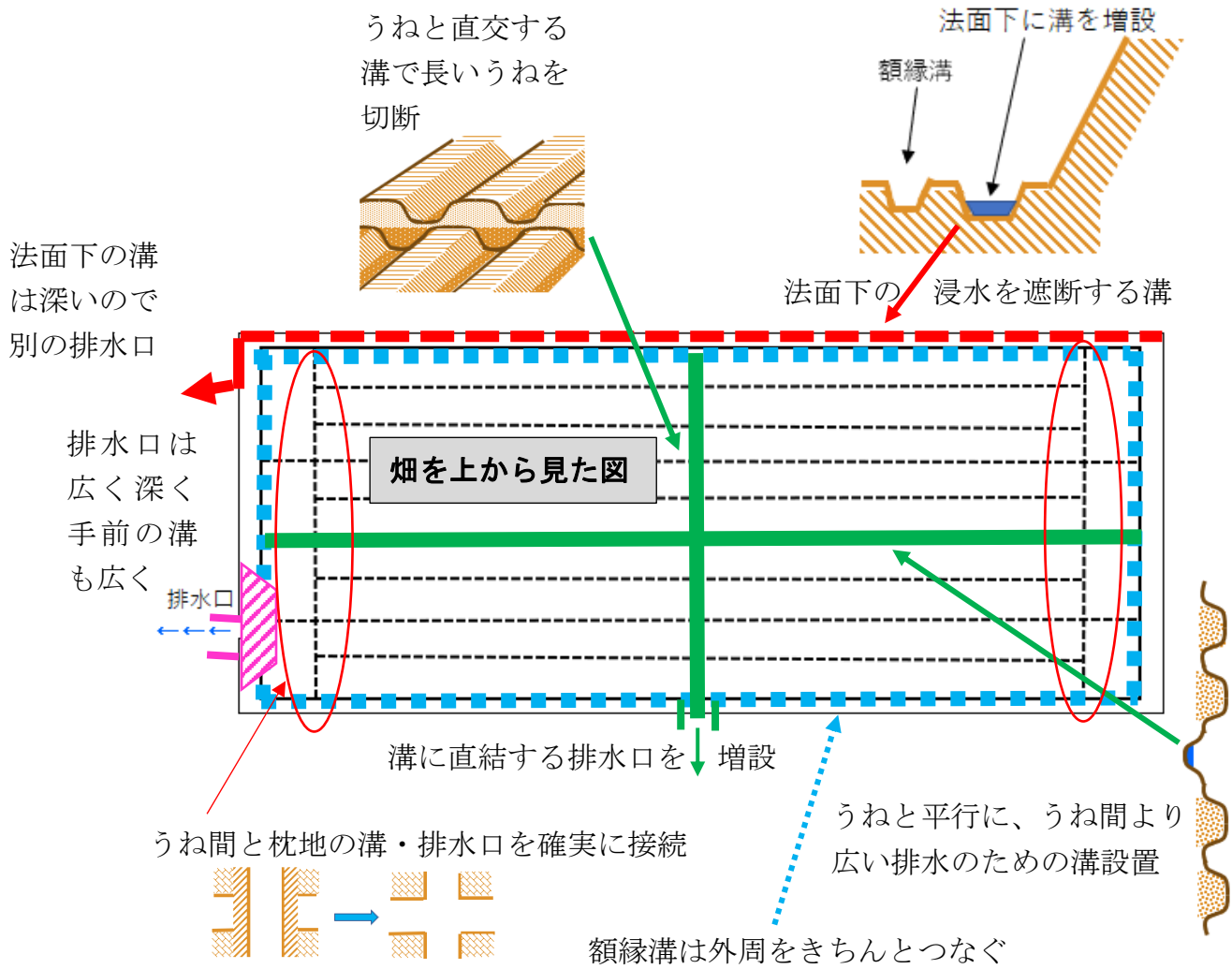
### 10アールの畑に50mmの雨が降ると50トン

大雨で50mmの雨が降ると、最初の10mm程度は土にしみ込み、残り約40トンは排水口から排水します。

複数の排水口を設けたり出口を広くして、少しでも早くうね間の水位を下げましょう。



# いろいろな排水対策



## うねの形も排水に影響します

×



培土板による谷上げはうね肩に土が集まり、そのままでは中央がへこむ



うね上面の排水が劣る  
うねに2、3条小豆を植える形

[お薦めのうねの形]



うね上面の排水もよい  
うねに1条植えの黒大豆に適する形



さらに高うねにすると初期からの大雨でも湿害回避できる